

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

事業報告書

公益社団法人日本将棋連盟
会長 佐藤康光

平成28年度 公益社団法人日本将棋連盟 事業報告書

〔自 平成28年4月1日 ～ 至 平成29年3月31日〕

【定款抜粋（公益社団法人日本将棋連盟）】

第4条 本連盟は、前条の目的を達成するため、下記の事業を行う。

- (1) 棋戦を主催し対局棋譜の提供及び棋戦の解説講評等を行い、将棋の普及啓発を推進する
- (2) 機関誌の定期発行・棋書の随時刊行により、将棋の普及発展を図る
- (3) 全国各地で講習会、大会を開催するとともに、支部等を設置して広域的に事業を展開する
- (4) 国際的な対局の開催や国際大会の支援を通じて、将棋文化を世界に発信する
- (5) セミナー・育成等の修練の場として将棋会館を設立し、一般への施設貸与にも供することにより広く棋道の発展を図る
- (6) 専門棋士を全国各地及び海外へ派遣し、将棋の拡大発展を図る
- (7) 各文化団体と連携を図り、日本固有の文化を継承発展させる活動に寄与する
- (8) 学校教育の場において将棋の普及啓発が図られるための活動を推進する
- (9) アマチュア段級位制度を通じて、将棋の普及啓発を図るため免状、認定状等を発行、交付する
- (10) その他本連盟の目的を達成するため必要な事業

定款第4条（1）項に関する事業報告

1. 竜王戦（第29期 読売新聞社）

- （1）竜王保持者以外の現役棋士と女流棋士4名・奨励会三段1名・アマチュア5名の計170名が、1～6組に分かれてトーナメント戦（ランキング戦）を行った。
- （2）ランキング戦通過者11名による決勝トーナメントを行い、丸山忠久九段が挑戦者となる。
- （3）渡辺明竜王と挑戦者丸山忠久との間で七番勝負を行い、4勝3敗で渡辺明が竜王を防衛した。

<10月～12月>

2. 名人戦（第74期 毎日新聞社・朝日新聞社）

- （1）A級・B級1組・B級2組・C級1組・C級2組の各クラスの順位戦に130名が参加し佐藤天彦八段がA級の最高成績者となる。
- （2）羽生善治名人と挑戦者佐藤天彦との間で七番勝負を行い、4勝1敗で佐藤天彦が名人を奪取した。

<4月～6月>

3. 王位戦（第57期 新聞三社連合<北海道・中日・西日本・神戸・東京・徳島各新聞>）

- （1）シード者以外の現役棋士と女流棋士2名の計156名が参加して、トーナメント形式による予選を行った。
- （2）シード者4名、予選通過者8名の計12名を紅白2組に分けてそれぞれ総当たりのリーグ戦を行い、木村一基八段が最高成績者となる。
- （3）羽生善治王位と挑戦者木村一基との間で七番勝負を行い、4勝3敗で羽生善治が王位を防衛した。

<7月～9月>

4. 王座戦（第64期 日本経済新聞社）

- （1）本戦シード者以外の現役棋士と女流棋士4名の計156名が、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。
- （2）本戦シード者6名と予選通過者10名の計16名による本戦トーナメント戦を行い、糸谷哲郎八段が挑戦者となる。
- （3）羽生善治王座と挑戦者糸谷哲郎との間で五番勝負を行い、3勝0敗で羽生善治が王座を防衛した。

<9月～10月>

5. 棋王戦（第42期 共同通信社）

- （1）シード者以外の現役棋士と女流棋士1名・アマチュア1名の計137名が、トーナメント形式による予選を行った。
- （2）シード者25名と予選通過者8名の計33名による本戦トーナメントを行い、千田翔太五段が挑戦者となる。
- （3）渡辺明棋王と挑戦者千田翔太との間で五番勝負を行い、3勝2敗で渡辺明が棋王を防衛した。

<2月～3月>

6. 王将戦（第66期 スポーツニッポン新聞社・毎日新聞社）

- （1）シード者以外の現役棋士（155名）が、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。
- （2）シード者4名、予選通過者3名の計7名で総当たりのリーグ戦を行い、久保利明九段が最高成績者となる。

(3) 郷田真隆王将と挑戦者久保利明との間で七番勝負を行い、4勝2敗で久保利明が王将を奪取した。

<1月～3月>

7. 棋聖戦 (第87期 産経新聞社)

(1) シード者以外の現役棋士と女流棋士2名の計153名が、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。

(2) シード者6名、予選通過者10名の計16名による決勝トーナメントを行い、永瀬拓矢六段が挑戦者となる。

(3) 羽生善治棋聖と挑戦者永瀬拓矢との間で五番勝負を行い、3勝2敗で羽生善治が棋聖を防衛した。

<6月～7月>

8. 叡王戦 (第2期 ドワンゴ)

(1) エントリーで参加を表明した現役棋士158名がトーナメント形式による段位別予選を行った。

(2) シード者1名、予選通過者15名の計16名による本戦トーナメントを行い、決勝三番勝負で佐藤天彦九段が千田翔太五段を2連勝で破って優勝した。なお、予選特選局と本戦はニコニコ動画において生中継を行った。

<6月～12月>

9. 朝日杯将棋オープン戦 (第10回 朝日新聞社)

(1) シード者以外の現役棋士と女流棋士6名、アマチュア10名の計170名が、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。

(2) シード者8名と予選通過者8名の計16名による本戦トーナメントを行い、決勝は八代弥五段が村山慈明七段を破って優勝した。なお、準決勝・決勝は公開対局をし、CS朝日の生放送でTV中継、ライブでネット配信を行った。

<2月>

10. 銀河戦 (第24期 株式会社囲碁将棋チャンネル)

(1) シード者以外の現役棋士(126名)が、予選を行った。

(2) シード者33名と予選通過者、女流2名、アマチュア4名の計96名をA～Hの8組に分け、勝ち抜き戦を行った。

(3) 各組の最終勝ち上がり者と最多連勝者の計16名により、決勝トーナメントを行い、決勝は、藤井猛九段が広瀬章人八段を破って優勝した。

<決勝放映は9月>

11. NHK杯将棋トーナメント (第66回 日本放送協会)

(1) シード者以外の現役棋士計129名が、トーナメント形式による予選を行った。

(2) シード者32名(女流棋士1名を含む)と予選通過者18名による計50名で本戦トーナメントを行い、決勝は佐藤康光九段が佐藤和俊六段を破って優勝した。

<決勝放映は3月>

12. 将棋日本シリーズ (第37回 各地方新聞社、協賛：日本たばこ産業株式会社)

(1) 選抜棋士12名でトーナメントを行い、決勝は豊島将之七段が佐藤天彦名人を破って優勝した。全11対局を全国の都市で行い、無料で一般に公開した。併せてこども大会も全会場で行った。熊本大会のみ、こども大会を別日で行った。(※地震のため)

<決勝は11月>

13. 新人王戦（第47期 しんぶん赤旗）
（1）26歳以下・五段以下の若手棋士と女流棋士4名・選抜奨励会三段19名・アマチュア1名の計40名によるトーナメントを行った。
（2）決勝三番勝負は、増田康宏四段が石田直裕四段を2勝0敗で破って優勝した。
＜10月～11月＞
14. 加古川清流戦（第6期 加古川市、公益財団法人加古川市ウェルネス協会）
（1）四段の棋士18名と選抜奨励会三段16名・女流棋士2名・アマチュア4名でトーナメント戦を行った。
（2）決勝三番勝負は、井出隼平四段が石川優太三段を2勝1敗で破って優勝した。
決勝は加古川市内で行った。
＜決勝は10月＞
15. 上州YAMADAチャレンジ杯（第1回 ヤマダ電機）
（1）五段以下の棋士とアマチュア選抜1名の計43名によるトーナメントを行った。
（2）決勝は船江恒平五段が千田翔太五段を破って優勝した。なお、準決勝・決勝はヤマダ電機「LABI1 高崎」にて公開対局を行った。
16. マイナビ女子オープン（第10期 株式会社マイナビ）
（1）シード者以外の現役女流棋士とチャレンジマッチを勝ち上がった女流棋士とアマチュア9名と女性奨励会員1名の計48名が、トーナメント形式の予選を行った。
（2）シード者4名と予選通過者12名の計16名で本戦トーナメントを行い、上田初美女流三段が挑戦者となる。
（3）加藤桃子女王と挑戦者上田初美との間で平成29年4月より五番勝負を行う。
＜4～5月＞
17. リコー杯女流王座戦（第6期 株式会社リコー、特別協力：日本経済新聞社）
（1）シード者以外の女流棋士44名・女性奨励会員1名、予選を勝ち上がったアマチュア6名と海外招待者1名が参加して、トーナメント形式による一次予選二次予選を行った。
（2）シード者と予選通過者の計16名による本戦トーナメントを行い、里見香奈女流四冠が挑戦者となる。
（3）加藤桃子女流王座と里見香奈との間で五番勝負を行い、3勝0敗で里見香奈が女流王座を奪取した。
＜10～12月＞
18. 岡田美術館杯女流名人戦（第43期 報知新聞社、
協賛：株式会社ユニバーサルエンターテインメント）
（1）シード者以外の現役女流棋士（47名）が、トーナメント形式の予選を行った。
（2）シード者6名、予選通過者4名の計10名で総当りのリーグを行い、上田初美女流三段が最高成績者となる。
（3）里見香奈女流名人と挑戦者上田初美との間で五番勝負を行い、3勝2敗で里見香奈が女流名人を防衛した。
＜1月～2月＞
19. 女流王位戦（第27期 新聞三社連合
＜北海道・中日・西日本・神戸・東京・徳島各新聞＞）
（1）シード者以外の現役女流棋士（46名）が、トーナメント形式の予選を行った。
（2）シード者6名、予選通過者6名の計12名で紅白2組に分けてそれぞれ総当りのリーグ戦を行い、岩根忍女流三段が最高成績者となる。
（3）里見香奈女流王位と挑戦者岩根忍との間で五番勝負を行い、3勝0敗で里見香奈が女流王

位を防衛した。
< 5月～6月 >

20. 霧島酒造杯女流王将戦（第38期 株式会社囲碁将棋チャンネル、協賛：霧島酒造株式会社）
- (1) シード者以外の現役女流棋士とアマチュア5名の計55名が、トーナメント形式の予選を行った。
 - (2) シード者4名と予選通過者12名による本戦トーナメントを行い、香川愛生女流三段が挑戦者となる。
 - (3) 里見香奈女流王将と挑戦者香川愛生との間で三番勝負を行い、2勝0敗で里見香奈が女流王将を防衛した。

< 10月 >

21. 大山名人杯倉敷藤花戦（第23期 倉敷市・倉敷市文化振興財団・山陽新聞社）
- (1) 倉敷藤花以外の現役女流棋士（53名）とアマチュア2名が、トーナメントを行い、室谷由紀女流二段が挑戦者となる。
 - (2) 里美香奈倉敷藤花と挑戦者室谷由紀との間で三番勝負を行い、2勝1敗で里見香奈が倉敷藤花を防衛した。なお、三番勝負第2局は一般に公開して行った。

< 11月 >

22. 女子将棋YAMADAチャレンジ杯（第2回 ヤマダ電機）
- (1) 女流選抜23名とアマチュア選抜1名の計24名によるトーナメントを行った。
 - (2) 準決勝・決勝はヤマダ電機「LABI1 高崎」にて公開対局を行い、決勝は渡部愛女流初段が貞升南女流初段を破って優勝した。

< 11月 >

定款 第4条（2）項に関する事業報告

1. 月刊「将棋世界」

A5判、260頁、付録1冊、定価800円、毎月3日発売
販売：株式会社マイナビ出版

2. 「平成28年版将棋年鑑」

B5判、650頁、定価（本体4,600円+税）、8月1日発売、直販品

3. 書籍

イ、「果たし状—伊藤果詰将棋50年作品集」伊藤果著
46判、352頁、定価（本体4,800円+税）

ロ、「将棋戦型別名局集4 四間飛車名局集」石川陽生著
A5判、440頁、定価（本体2,800円+税）

ハ、「将棋基本手筋コレクション432」将棋世界編
文庫版、448頁、定価（本体1,240円+税）

ニ、「将棋・名勝負の裏側」将棋世界編
46判、224頁、定価（本体1,540円+税）

ホ、「1冊で詰みの基本が身につく3・5・7手詰」将棋世界編
文庫版、448頁、定価（本体1,240円+税）

ヘ、「谷川流寄せの法則完全版」谷川浩司著
文庫版、448頁、定価（本体1,240円+税）

ト、「勝てる将棋の考え方・新イメージと読みの将棋観」将棋世界編

- 46判、256頁、定価（本体1,540円+税）
 チ、「内藤國雄のすべて」内藤國雄著
 A5判、368頁、定価（本体2,800円+税）
 リ、「大山VS升田全局集」大山康晴・升田幸三著
 A5判、416頁、定価（本体2,800円+税）
 ス、「将棋・終盤の総手筋」関根茂著
 文庫版、456頁、定価（本体1,240円+税）
 ル、「終盤で差がつく 寄せの決め手210」沼春雄著
 文庫版、448頁、定価（本体1,240円+税）
 フ、「将棋の才能—河口俊彦・将棋観戦記集—」河口俊彦著
 A5判、384頁、定価（本体2,800円+税）

以上、将棋普及を目的とした出版物を刊行した。

定款 第4条（1）項、（4）項、（6）項に関する普及事業報告

1. 平成28年度社会福祉活動支援報告①

支援対象大会名 第29回全国障害者将棋大会
 実施時期 平成28年10月16日
 会場 東京都北区「北とぴあ」
 出場資格 障害をお持ちの方で将棋が指せること
 主催 全国障害者将棋大会（代表：栢沼明）
 後援 東京都社会福祉協議会、朝日新聞東京厚生文化事業団、日本将棋連盟他
 支援内容 賞品（扇子）寄贈・後援名義使用

2. 平成28年度社会福祉活動支援報告②

支援対象大会名 第40回全国盲人将棋大会
 実施時期 平成28年11月19・20日
 会場 メヂカルフレンドビル
 出場資格 日本盲人会連合組織団体の会員であること
 審判長 先崎学九段
 主催 社会福祉法人日本盲人会連合
 後援 厚生労働省・日本放送協会・日本将棋連盟
 支援内容 免状寄贈・後援名義使用・審判長／運営要員人選補佐

3. 日本文化紹介事業「海外棋士派遣事業」

派遣先 オランダ
 日程 平成28年8月18日～24日
 派遣者 青野照市九段・石川陽生七段
 内容 オランダ・アムステルフェーンにある「欧州囲碁文化センター」において8月19日～21日に開催された「ヨーロッパ選手権2016」に派遣。
 過去最高となる121名の参加者を集めた本選手権において競技審判、指導対局、大盤解説を務めた。

4. 日中友好文化交流事業「海外棋士派遣事業」

事業名 日中友好青少年将棋大会
 日程 平成28年8月6日～7日
 会場 中国北京市「金福芝農番茄联合国」

派遣者 青野照市九段・飯島栄治七段

内容 中国、香港、台湾、日本を対象地域として、小学生から大学生までの青少年の将棋大会を開催。あわせて派遣棋士による指導対局、講習などを行った。

主催 北京将棋倶楽部

共催 公益社団法人日本将棋連盟

協賛 株式会社杏林堂薬局

後援 北京日本人会、北京日本文化センター

定款 第4条（3）項、（6）項、（8）項に関する普及開発事業報告

1. 親子ふれあい将棋大会 7月9日 更生保護会館
2. 将棋指導員審査 4月3日 6地区(愛知・北海道・福岡・宮城・大阪・東京)
3. 名人戦大盤解説会 4月～6月2地区(東京・大阪) 大盤解説会
4. 第48期女流アマ名人戦 10月10日 東京・KFCホール
5. 文部科学大臣杯第12回小中学校将棋団体戦 8月11日 産経ビル
産経新聞社・文部科学省・文化庁・NHK・JKA
JKAより平成28年度公益事業振興補助事業補助金として4,233,000円
6. 第42回「将棋の日」 11月12・13日 静岡市民会館(静岡市)
7. U-18将棋スタジアム 12月23日 東京武道館
8. 学校へ将棋指導者派遣事業 4月～3月
9. オリンピック・パラリンピック教育推進校に対する将棋を用いた「日本の伝統的な礼儀・作法やおもてなしの学習」授業の提案活動を行った。

定款 第4条（3）項、（6）項、（10）項に関する事業報告

1. 将棋道場事業
将棋会館(東京)、関西将棋会館(大阪)、新宿将棋センターにて将棋道場を開設した。
入場者同士の対局による棋力認定や、専門棋士による指導対局を行った。
2. 北海道将棋道場事業
北海道将棋会館(札幌市)にて将棋道場を開設した。
北海道支部連合会へ運営を依頼し、入場者同士の対局による棋力認定や、専門棋士による指導対局を行った。

定款 第4条（5）項に関する事業報告

1. 東京将棋会館 教室講習 以下の各種教室・イベントを行った。
 - ◇ラクラク基礎から講座 毎週 火曜日 月4回 初心者
 - ◇遊々将棋塾 毎週 土曜日 月4回 初心者から有段者
 - ◇子供将棋スクール 毎週 日曜日 月4回 小学生
毎月 第1・3水曜日 小学生
 - ◇パワーアップ将棋セミナー 毎月 第1・3日曜日 小学生から大学生
 - ◇ガチンコ子供将棋教室 毎週 土曜日 月4回 小学生
 - ◇レディースセミナー 毎月 土曜日 月4回 初心者から有段者の女性
 - ◇ビギナーズセミナー 毎週 月・木曜日 入門・初心者・級位者
 - ◇タイトル戦・主要対局の大盤解説会の実施

- ◇専門棋士対局の観戦（不定期）実施
- ◇夏休み（7～8月）子供大会の実施
- ◇年末年始 将棋大会の実施

2. 関西将棋会館 教室講習 以下の各種教室・イベントを行った。
 - ◇日曜こども将棋スクール 毎週日曜日／月4回／級位者／小・中学生
 - ◇土曜こども将棋スクール 毎週土曜日／月4回／初級・中級・上級／小・中学生
 - ◇ビギナーズセミナー 毎週土曜日／月4回／初心者／一般
 - ◇レディースセミナー 毎週月曜日／月4回／入門（偶数月）・初級・中級／女性
 - ◇タイトル戦・主要対局の大盤解説会の実施
 - ◇専門棋士対局の観戦（不定期）実施
 - ◇夏休み（7～8月）春休み（3～4月）子供大会の実施
 - ◇年末年始 将棋大会の実施
3. 東・西将棋会館利用事業 将棋ファンのニーズに併せ以下の貸し出しを行った。
 - ◇会場の貸し出し 随時
 - 東京将棋会館 2階 研修室(50平米)
 - 4階 特別対局室(18畳)・高雄(12畳)・雲鶴(12畳)・棋峰(12畳)
 - 飛燕(10畳)・銀沙(10畳)・桂(14畳)
 - 5階 香雲(12畳)
 - 関西将棋会館 4階 水無瀬(14畳)・錦旗(14畳)・多目的ルーム(100平米)
 - 5階 御下段(18畳)・御入側(9畳)・芙蓉(10畳)
 - 北海道将棋会館
 - ◇棋具備品の貸し出し 随時

定款 第4条（6）項、（10）頁に関する事業報告

1. 新宿将棋センター 以下の各種教室・イベントを行った。
 - ◇レディースセミナー 毎月第1、3土曜日 女性
 - ◇シニアスクール 毎月第2、4木曜日 50歳以上
 - ◇金曜ナイタースクール 毎月第2、4金曜日 初心者から有段者
 - ◇専門棋士による指導対局
 - ◇夏休み（7～8月）、冬休み（12月）春休み（3～4月）に子供大会を実施
2. 子供将棋スクール・分校
 - ◇子供将棋スクール町田校 毎週日曜日（第5を除く）小学生以下
 - ◇子供将棋スクール新宿校 毎週日曜日（第5を除く）小学生以下
 - ◇子供将棋スクール川口校 毎月第2、4日曜日 小学生以下
 - ◇子供将棋スクール横浜校 毎月第2、4日曜日 小学生以下
3. 子供将棋スクール・提携校
 - ◇栄光キッズカレッジ自由が丘校 毎週 土曜日 月4回 小学生
 - ◇栄光キッズカレッジ南柏校 毎週 日曜日 月4回 小学生
4. ヤマダこども将棋教室
 - ・全国（札幌～那覇）ヤマダ電機55店舗で開催した。
 - ・専門棋士および将棋指導員、支部役員を講師として派遣した。

定款 第4条（8）項に関する事業報告

1. 将棋関連商品事業報告

- ◇ 将棋盤：高級品・普及品を販売した。
- ◇ 将棋駒：高級品・普及品を販売した。
- ◇ 扇子：名人戦記念 4月発売 / 名人位 8月発売
全棋士署名 7月発売 / 竜王位 3月発売
以上の扇子を販売した。
タイトル保持者・棋士・女流棋士 以上の扇子を販売した。
- ◇ カレンダー・将棋手帳 11月から販売した。
- ◇ 将棋関連書籍・雑誌を販売した。
- ◇ 他グッズ（置き駒、将棋タオル、大盤セットなど）を販売した。
- ◇ 北海道支部連合会へ委託し、盤、駒等将棋関連商品の販売は行わなかった。

定款 第4条（9）項に関する事業報告

1. 将棋免状認定、以下を行った。

- ◇ 専門棋士（プロ棋士）指導による棋力認定
- ◇ 公認将棋指導員による棋力認定
- ◇ 専門誌紙上検定による棋力認定
- ◇ 連盟直営道場による棋力認定
- ◇ 免状を取得できる大会で規定の成績を収めた者への棋力認定
- ◇ 新聞・雑誌の紙上検定による棋力認定
- ◇ インターネットによる棋力認定
- ◇ テレビによる棋力認定
- ◇ 記念認定
- ◇ 将棋会館道場認定
- ◇ 新宿将棋センター認定
- ◇ 支部会員認定

定款 第4条（10）項に関する事業報告

1. 広報活動

- ◇ 各報道関係者・出版機関に将棋文化の宣伝を行った。
- ◇ 会員・棋戦・イベント等の将棋に関する情報を各報道関係者に発信した。
- ◇ 全国各地の公共機関・施設や企業より依頼された将棋イベントや講演等の協力をした。
- ◇ テレビ・ラジオ番組・映画の制作や取材に協力した。
- ◇ 新聞・雑誌等の取材（原稿依頼を含む）協力をした。
- ◇ 他社の書籍編集の協力や、ゲームの商品化に協力した。
- ◇ 小中高大学生や一般の方々に対局観戦をはじめ、会館の案内をした。
- ◇ 将棋対局における棋譜・記録等、資料整備を行った。
- ◇ ホームページ上より将棋の情報を一般の方々に公開した。
- ◇ 対局を写真撮影しマスコミに貸出を行った。

2. 電子メディア事業

- ◇ インターネットホームページ <http://www.shogi.or.jp/>にて将棋情報・イベント告知を配信し、国内・海外への普及振興を行った。
- ◇ インターネット、モバイルでの棋戦中継事業を行った。
- ◇ インターネットで無料対局サイト「将棋倶楽部24」を運営した。
- ◇ インターネット動画「ニコニコ生放送」を活用してタイトル戦の動画配信、動画解説会を行った。
- ◇ インターネット動画「ニコニコ生放送」でコンピュータとプロ棋士の対局「電王戦」を行なった。
- ◇ 社内ネットワークの再構築を行った。
- ◇ PC、デジタル機器の資産管理の再整備を行った。

3. 普及推進事業

- ◇将棋文化振興自治体 全国将棋サミット2016
参加自治体数 17自治体
会場 東京都千代田区
日程 8月22日
- ◇将棋文化検定は休止した。

理事会・社員総会等に関する事項

	開催年月日	議事事項
常務会	2016年4月4日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年4月15日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年4月25日	業務の管理、運営に関して
月例報告会（東京）	2016年4月25日	正会員への報告及び質疑応答
月例報告会（関西）	2016年4月27日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2016年5月9日	業務の管理、運営に関して
理事会	2016年5月18日	議案 第1号 平成27年度決算書類承認の件 第2号 平成27年度事業報告承認の件 第3号 第67回通常総会開催の件 第4号 対局規定変更承認の件 第5号 Web新事業に関する承認の件 報告
常務会	2016年5月23日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年6月2日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年6月9日	業務の管理、運営に関して
第67回通常総会	2016年6月10日	第1号議案 平成27年度事業報告書承認の件 第2号議案 平成27年度決算書類承認の件 第3号議案 対局規定変更の件 第4号議案 新事業（HPリニューアル）の件
常務会	2016年6月20日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年6月27日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年7月4日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年7月11日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年7月19日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年7月26日	業務の管理、運営に関して
月例報告会（東京）	2016年7月26日	正会員への報告及び質疑応答
月例報告会（関西）	2016年7月29日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2016年8月4日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年8月15日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年9月1日	業務の管理、運営に関して
理事会	2016年9月8日	議案 第1号 金子渉外・デジタルアドバイザー承認の件 報告

常務会	2016年9月12日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年9月26日	業務の管理、運営に関して
月例報告会（東西合同）	2016年9月26日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2016年10月3日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年10月17日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年10月21日	業務の管理、運営に関して
理事会	2016年10月24日	議案 第1号 三浦弘行九段出場停止処分承認の件 第2号 役員損害賠償保険加入承諾の件 報告
決議の省略による臨時理事会	2016年10月29日	議案 第1号 第三者調査委員会委員承認の件
常務会	2016年10月31日	業務の管理、運営に関して
月例報告会（東西合同）	2016年10月31日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2016年11月11日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年11月17日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年11月28日	業務の管理、運営に関して
月例報告会（東西合同）	2016年11月28日	正会員への報告及び質疑応答
理事会	2016年12月7日	議案 第1号 平成28年度中間決算承認の件 報告
常務会	2016年12月12日	業務の管理、運営に関して
常務会	2016年12月20日	業務の管理、運営に関して
理事会	2016年12月27日	議案 第1号 第三者調査委員会答申報告の件 報告
常務会	2017年1月12日	業務の管理、運営に関して
常務会	2017年1月17日	業務の管理、運営に関して
理事会	2017年1月19日	議案 第1号 臨時総会招集の件 報告
常務会	2017年1月23日	業務の管理、運営に関して
月例報告会（東西合同）	2017年1月23日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2017年2月1日	業務の管理、運営に関して

理事会	2017年2月6日	議案 第1号 代表理事（会長）及び業務執行理事 （常務理事）選任の件 報告
常務会	2017年2月10日	業務の管理、運営に関して
常務会	2017年2月20日	業務の管理、運営に関して
常務会	2017年2月27日	業務の管理、運営に関して
臨時総会	2017年2月27日	議案 第1号議案 青野照市専務理事の理事解任の件 第2号議案 東和男常務理事の理事解任の件 第3号議案 中川大輔常務理事の理事解任の件 第4号議案 佐藤秀司常務理事の理事解任の件 第5号議案 片上大輔常務理事の理事解任の件
月例報告会（東西合同）	2017年2月27日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2017年3月6日	業務の管理、運営に関して
常務会	2017年3月13日	業務の管理、運営に関して
理事会	2017年3月17日	議案 第1号 平成29年度事業計画書、収支予算書、 資金調達及び設備投資の見込みを記載 した書類 承認の件 報告
常務会	2017年3月22日	業務の管理、運営に関して
決議の省略による臨時理事会	2017年3月22日	議案 第1号 平成29年度収支予算書並びに 資金調達及び設備投資の見込みを記載 した書類 承認の件
常務会	2017年3月30日	業務の管理、運営に関して
月例報告会（東西合同）	2017年3月30日	正会員への報告及び質疑応答